

本時のねらい

- ・東京の昼と夜の人口の違いについて、資料を読み取って自分の言葉で説明することができる。
- ・ある社会的事象には、それを起こさせる原因が存在するということを理解する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・ジグソー法のエキスパート班に資料を配布する際、ミライシード上に 8 種類の資料を事前に用意しておき、生徒は必要な資料を 3 つ選択して課題解決に取り組む。課題解決に必要な情報のみを用意して与えるのではなく、自身のエキスパート班に必要となる資料を取捨選択することを通して、事象の考察や情報の読み取りを深めることをねらいとした。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad
- ・ミライシード (オクリンク)
- ・カメラ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7分)	○東京都と埼玉県の日夜間人口比率の資料から、数値の違いが実生活においてどのような違いとして表れているかを考察する。	○資料は RESAS (地域経済分析システム) から引用した。何を表すかが明確に分かる資料ではあるが、スクリーンでの一斉授業には細部が見えにくい。しかし、生徒の端末に表示させることで資料の確認が容易となった。
展開 (36分)	○エキスパート班に分かれて、各班のテーマに沿って考察を深める。 ○エキスパート班でまとめた考察内容を写真に保存し、ジグソー班で共有する。	○複数の資料を一斉に、短時間で配付することができ、配付や保管・整理に要する時間を大幅に短縮できる。 ○写真・画像を用いての説明が可能となったことで、自分の考えを言葉で表現することが苦手な生徒でも、必要な内容を容易に伝えられるようになり、グループワークに取り組みやすい。
まとめ (7分)	○学習の振り返り ジグソー班でエキスパート班の内容を共有し、ふり返り課題に取り組む。その後、課題に対する解答を iPad 上で提出する。	○振り返りを iPad によって提出させることにより、振り返り問題の解説に関しても、生徒の解答を利用して発表・解説することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



複数資料を並列し、エキスパート班は自班の課題解決に必要な資料を取捨選択する。



意見を出し合いながら、自班が選択した資料の考察を深めている様子。



エキスパート班でまとめた内容をジグソー班で共有している様子。

児童生徒の反応や変容

○エキスパート課題に取り組む際、複数の資料から必要な情報のみを取捨選択するためにグループ内において活発な意見交流が行われた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

○資料を複数用意することも、一斉に配付することも容易になった。そのため、ミライシードを誘う資料を用意したうえで、生徒に複数の情報を比較したり、必要な情報のみを取捨選択したりさせるなど、レベルや目的に応じてアレンジすることが可能だと思う。